

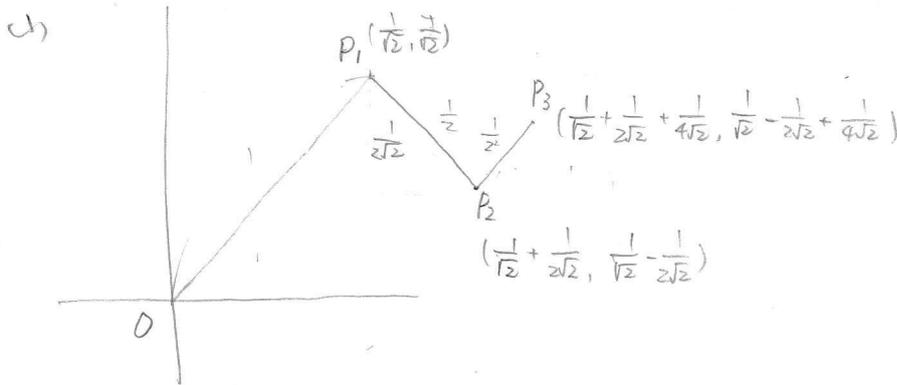
要約第21

$xy$  平面上で、原点  $O$  を出発して、 $x$  軸の正の方向と  $45^\circ$  をなす方向に 1 だけ進んだ点を  $P_1$  とする。 $P_1$  において直角に右折して  $\frac{1}{2}$  だけ進んだ点を  $P_2$  とする。 $P_2$  において直角に左折して  $\frac{1}{2^2}$  だけ進んだ点を  $P_3$  とする。以下同様にして、 $n$  が奇数のときは  $P_n$  において直角に右折して、 $n$  が偶数のときは  $P_n$  において直角に左折してそれぞれ  $\frac{1}{2^n}$  だけ進んだ点を  $P_{n+1}$  とする。 $n$  を限りなく大きくしたとき、 $P_n$  は定点  $A$  に限りなく近づく。

(1)  $OP_1 + \sum_{n=1}^{\infty} P_n P_{n+1}$  を求めよ。

(2) 定点  $A$  の座標を求めよ。

[愛知工大]



$P_n P_{n+1}$  の一般項は  $(\frac{1}{2})^n$  となる

$OP_1 + \sum_{n=1}^{\infty} P_n P_{n+1} = 1 + \frac{\frac{1}{2}}{1 - \frac{1}{2}} = 2$

(2)

$P_n$  の  $x$  座標は一般項  $\frac{1}{\sqrt{2}} (\frac{1}{2})^{n-1}$  となり  $\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{1 - \frac{1}{2}} = \frac{2}{\sqrt{2}} = \sqrt{2}$

$P_n$  の  $y$  座標は一般項  $\frac{1}{\sqrt{2}} (-\frac{1}{2})^{n-1}$  となり  $\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{1 + \frac{1}{2}} = \frac{2}{3\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{3}$

∴ 定点  $A$  は  $(\sqrt{2}, \frac{\sqrt{2}}{3})$

ミスが多い